

新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

1 岩手県内の患者の発生状況等

(1) 県内の患者の入退院等の状況

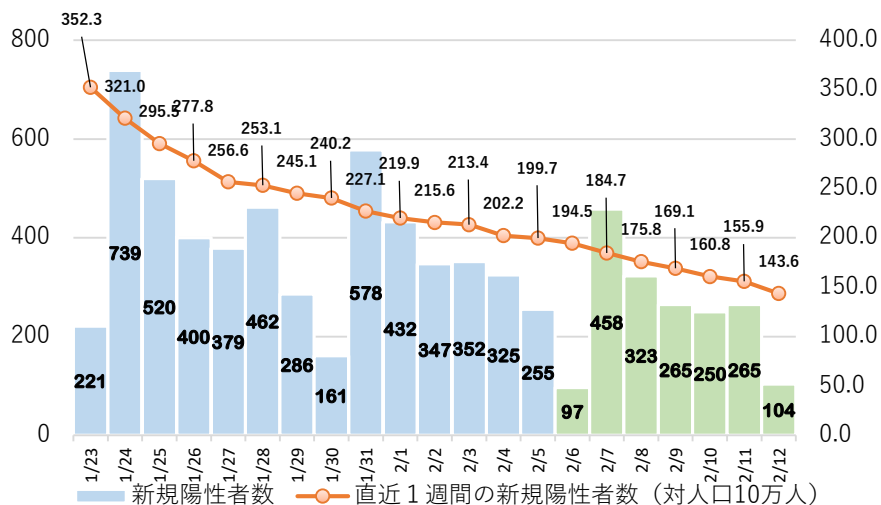
2月12日 12時時点

累計 患者数	病床 使用数	重症者数	宿泊 療養者数	死亡者 数
229,385人 (+104)	39人 (+1)	0人 (0)	16人 (+3)	595人 (+1)

() は前日からの増減数

(2) 県内の新規陽性者数推移

(単位：人)



(3) 年代別の新規陽性者数

(単位：人)

公表日	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	不明	合計
2/12	18	12	9	19	18	10	6	4	3	5	0	104

(4) 保健所管内別の新規陽性者数

保健所名	1月9日 ～ 1月15日	1月16日 ～ 1月22日	1月23日 ～ 1月29日	1月30日 ～ 2月5日	2月6日 ～ 2月12日	累計
県央	656人	474人	325人	247人	199人	27,021人
中部	616人	430人	326人	282人	229人	41,703人
奥州	489人	376人	270人	228人	186人	23,578人
一関	462人	333人	228人	149人	102人	18,008人
大船渡	312人	177人	118人	28人	18人	6,900人
釜石	303人	147人	93人	119人	62人	6,256人
宮古	418人	257人	127人	139人	122人	8,603人
久慈	173人	193人	65人	69人	22人	8,766人
二戸	158人	100人	72人	82人	41人	7,292人
盛岡市	1472人	1062人	777人	577人	413人	59,493人
登録センター	1684人	904人	606人	530人	368人	21,765人
計	6,743人	4,453人	3,007人	2,450人	1,762人	229,385人

※9/27以降は届出した医療機関の所在地を管轄する保健所等ごとに集計

(5) 県内の行政検査件数

(単位：件)

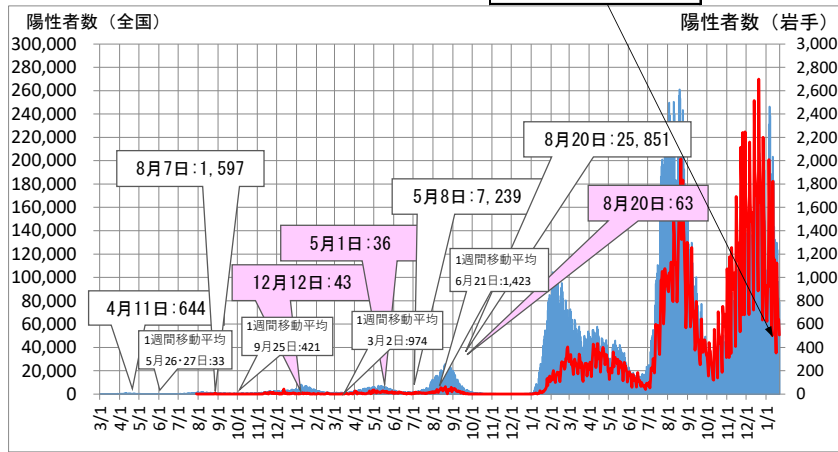
検査結果判明日	2/5 (日)	2/6 (月)	2/7 (火)	2/8 (水)	2/9 (木)	2/10 (金)	2/11 (土)	累計*
環境保健 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	40,906
民間検査機関 医療機関	337	884	1,438	1,283	1,017	836	806	631,457
合計	337	884	1,438	1,283	1,017	836	806	672,363
ウイルス検出数	97	458	323	265	250	265	104	229,385

※累計：令和2年2月13日からの累計

本日の速報値 88人

2 全国の患者の発生状況等

(1) 全国の新規陽性者数推移



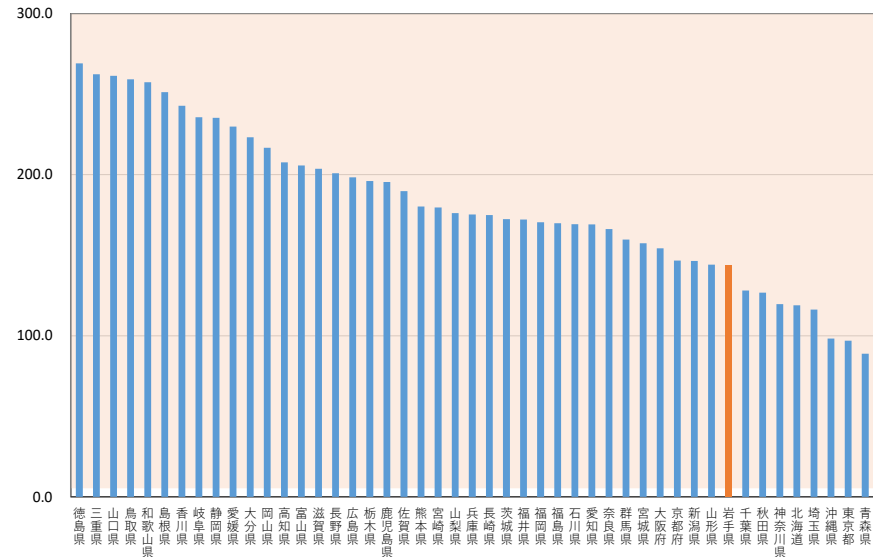
(2) 東北地方の新規陽性者数

県名	新規陽性者数 (単位:人)					累計
	1月9日 ~ 1月15日	1月16日 ~ 1月22日	1月23日 ~ 1月29日	1月30日 ~ 2月5日	2月6日 ~ 2月12日	
青森県	6,140	3,945	2,716	1,606	1,107	274,178
岩手県	6,743	4,453	3,007	2,450	1,762	229,385
宮城県	14,211	9,451	6,766	4,776	3,629	524,327
秋田県	4,183	2,907	2,200	1,550	1,225	196,096
山形県	4,575	3,390	2,330	1,794	1,555	221,307
福島県	12,330	8,844	5,848	4,332	3,136	394,473

(3) 全国の新規陽性者数

都道府県	患者数	長野県	377	岡山県	335
北海道	326	富山県	75	広島県	332
青森県	59	石川県	112	山口県	203
宮城県	337	福井県	118	徳島県	85
秋田県	41	愛知県	588	香川県	152
山形県	75	岐阜県	218	愛媛県	136
福島県	162	静岡県	826	高知県	89
東京都	799	三重県	594	福岡県	491
神奈川県	712	大阪府	824	佐賀県	77
埼玉県	406	兵庫県	894	長崎県	152
千葉県	414	京都府	230	熊本県	179
茨城県	613	滋賀県	112	大分県	193
栃木県	178	奈良県	200	宮崎県	98
群馬県	177	和歌山県	313	鹿児島県	198
山梨県	96	島根県	116	沖縄県	86
新潟県	188	鳥取県	112	岩手県	104

(4) 全国の直近1週間の新規陽性者数(対人口10万人): 2月6日~2月12日



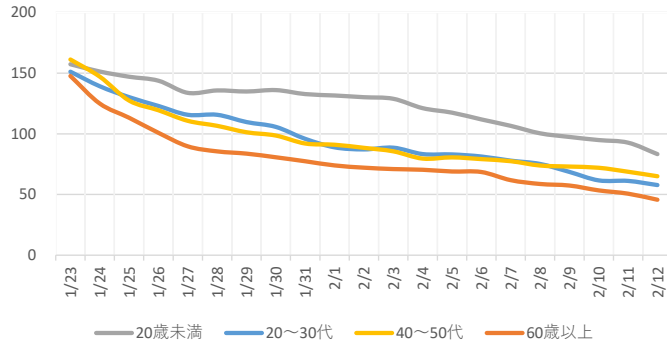
都道府県	10万人あたり 陽性者数	1週間前との増減	長野県	200.9	▽	△ 77.7	奈良県	166.3	▽	△ 78.1	
徳島県	269.1	▽	△ 71.3	広島県	198.4	▽	△ 99.9	群馬県	159.7	▽	△ 65.1
三重県	262.4	▽	△ 88.4	栃木県	196.1	▽	△ 83.3	宮城県	157.4	▽	△ 49.7
山口県	261.4	▽	△ 85.7	鹿児島県	195.5	▽	△ 86.1	大阪府	154.3	▽	△ 70.2
鳥取県	259.2	▽	△ 50.7	佐賀県	189.8	▽	△ 76.7	京都府	146.7	▽	△ 55.1
和歌山県	257.4	▽	△ 43.1	熊本県	180.3	▽	△ 102.4	新潟県	146.4	▽	△ 41.3
島根県	251.3	▽	△ 68.7	宮崎県	179.6	▽	△ 98.9	山形県	144.2	▽	△ 22.2
香川県	242.8	▽	△ 129.1	山梨県	176.1	▽	△ 109.5	岩手県	143.6	▽	△ 56.1
岐阜県	235.7	▽	△ 80.2	兵庫県	175.3	▽	△ 80.5	千葉県	128.1	▽	△ 69.8
静岡県	235.3	▽	△ 103.7	長崎県	174.9	▽	△ 67.4	秋田県	126.8	▽	△ 33.7
愛媛県	229.9	▽	△ 88.2	茨城県	172.4	▽	△ 84.9	神奈川県	119.6	▽	△ 59.9
大分県	223.2	▽	△ 61.7	福井県	172.1	▽	△ 84.9	北海道	118.9	▽	△ 36.0
岡山県	216.7	▽	△ 94.5	福岡県	170.5	▽	△ 94.0	埼玉県	116.3	▽	△ 59.9
高知県	207.6	▽	△ 84.2	福島県	169.9	▽	△ 64.8	沖縄県	98.3	▽	△ 49.4
富山県	205.7	▽	△ 47.3	石川県	169.3	▽	△ 65.2	東京都	96.9	▽	△ 64.1
滋賀県	203.7	▽	△ 100.9	愛知県	169.1	▽	△ 81.0	青森県	88.8	▽	△ 40.1

増加傾向にある自治体数

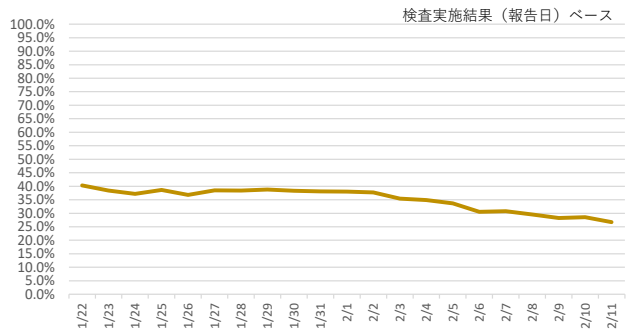
0 / 47

3 感染の状況や医療ひっ迫の状況等を評価するための指標

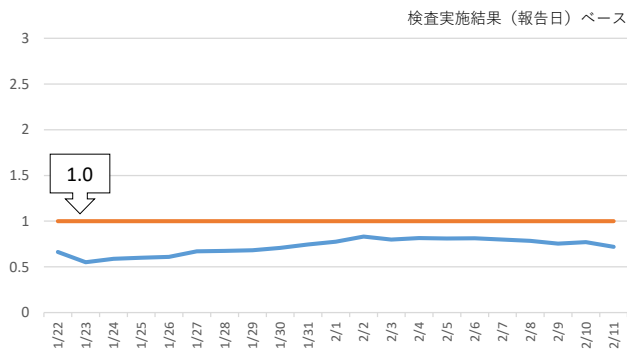
(1) 年齢階層別新規陽性者数（1週間移動平均）（1月23日から2月12日まで）



(2) 陽性率（1週間移動平均）（1月22日から2月11日まで）



(3) 今週先週比（新規陽性者数）（1月22日から2月11日まで）



(4) 主な指標の状況

2月12日時点

指標				岩手県
医療提供体制の負荷	①医療のひっ迫具合	入院医療	確保病床の使用率	8.5% (▲6.0) (39/460床)
		重症者用病床	確保病床の使用率	0.0% (+0.0) (0/34床)
感染の状況	②陽性率（直近1週間）			26.7% (▲8.2) (1762/6601人)
	③新規陽性者数（対人口10万人・直近1週間）			143.6人 (▲56.1) (実数1762人)

R4.12.26から確保病床数
435→460に変更

※（ ）は、前週差。また、入院率は療養者数（対人口10万人）が10人以上の場合に適用。

岩手県における新レベル分類の運用について

オミクロン株に対応した新レベル分類における、岩手県の判断基準については、以下のとおりとする。

	感染小前期	感染拡大初期	医療負荷増大期	医療機能不全期
オミクロン株対応の新レベル分類	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
レベル判断に関する事象	保健医療の負荷の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が増え、負荷が高まり始める ・救急外来の受診者数が増加する ・病床使用率、医療従事者の欠勤者数が増加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到する。重症化リスクの高い者が多く受診できない状況が発生 ・救急搬送困難事例が増える ・入院患者が増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到する ・救急車を要請されても対応できない状況が発生する。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態 ・膨大な数の感染者により入院が必要な中等症・重症の患者数の絶対数が著しく増加する ・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫する ・入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生する ・通常診療を大きく制限せざるを得ない状態
	社会経済活動の状況	-	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生する
レベル判断に関する指標	感染者数は低位で推移しているか、徐々に増加している状態	感染者数が急速に増え始める	感染者数が急激に増える	感染者数が急激に増える
レベル判断に関する指標	病床使用率：概ね20～30%	病床使用率：概ね30～50%	病床使用率：概ね50%超 重症病床使用率：概ね50%超	病床使用率：概ね80%超 重症病床使用率：概ね80%超